



福祉施設については、水道料金の割引はできないでしょうか。
(塚田由美子さん)

悪臭もなく、生活環境の改善に役立っています。
(松崎州男さん)



水道事業会計 「寄居町水道ビジョン(*5)」策定開始

収益的収入 **11億4200万円** 収益的支出 **9億1400万円**

資本的収入 **3600万円** 資本的支出 **2億5000万円**

議会の視点

安定した施設更新
水道事業のあり方

少子化で給水人口が減少する中、今後更新時期を迎える施設への対応等の課題に対処し、持続可能な事業運営を目指して「寄居町水道事業ビジョン」の策定を開始しました。

決算の概要
総配水量は、ホンダ寄居工場の使用水量が増加したものの給水人口の減少等により、前年度比3万5083m³減の494万9916m³となりました。収益は9億8163万円となり、費用が8億6495万円で前年度比7・9%増。当年度純利益は1億1667万円となりました。

賛成
水道事業は、給水人口の減少により料金収入減が見込まれ、更新時期を迎える施設を抱えるなど厳しい状況の中、26年度は黒字決算でした。施設整備では、漏水事故の防止や老朽管更新を計画的に進め、持続可能な運営の指針となる水道事業ビジョン策定に着手するなど、安定した運営への努力がうかがえます。

反対
水道事業会計は、地方公営企業会計になっており、独立採算制がとられています。給水利用による営業利益は、年々、少子高齢化による給水量の低下により減少傾向です。命のもとである水を止めてまで料金を支払わせることは行き過ぎではないでしょうか。

私はこう考えるー議員の意見(討論)



荒川から取水している象ヶ鼻浄水場

平成26年度
特別会計
事業会計
認定
しました

農業集落排水事業特別会計

施設の維持管理、折原地区の接続率向上

入ったお金 **9100万円**

使ったお金 **8900万円**

決算の概要

26年度未受益者数は、今市239戸、用土307戸、折原268戸で三地区合計814戸となりました。今市地区処理施設では汚泥濃度計の交換、用土中央処理施設でも機器の延命化を図る工事等の維持管理工事を行い、水質の安定に努めました。

議会の視点

施設の安定維持・接続率の向上

24年7月に供用開始された折原地区においては接続率が57・8%となり、対前年度比は12・5%の増加となりました。

ことば

(*5) 寄居町水道ビジョン

少子化による給水人口の減少、施設の大規模な更新が必要となる中で、安全・安定的な水の供給などの課題に対処していくため、経営戦略を策定し、その取り組みを実行していくことが求められます。そうした課題解決のため、水道事業者の取り組みを示す計画です。